

～夫のお小遣い実態調査～
夫のお小遣いの平均は 35,686 円！ 前回調査より 261 円減！
増税や値上げによる生活費増のしわ寄せが夫のお小遣いに

フィールドマーケティング支援サービスを提供するソフトブレイン・フィールド株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:木名瀬博)では、「夫のお小遣い」についてのアンケートを2014年6月18日～6月24日に実施しましたので、その結果を報告します。アンケートの対象は、30代～40代の主婦を中心とする当社サービス登録の既婚女性会員、有効回答者数は972名(平均年齢44歳)でした。

【調査結果】

(1)夫のお小遣い額について

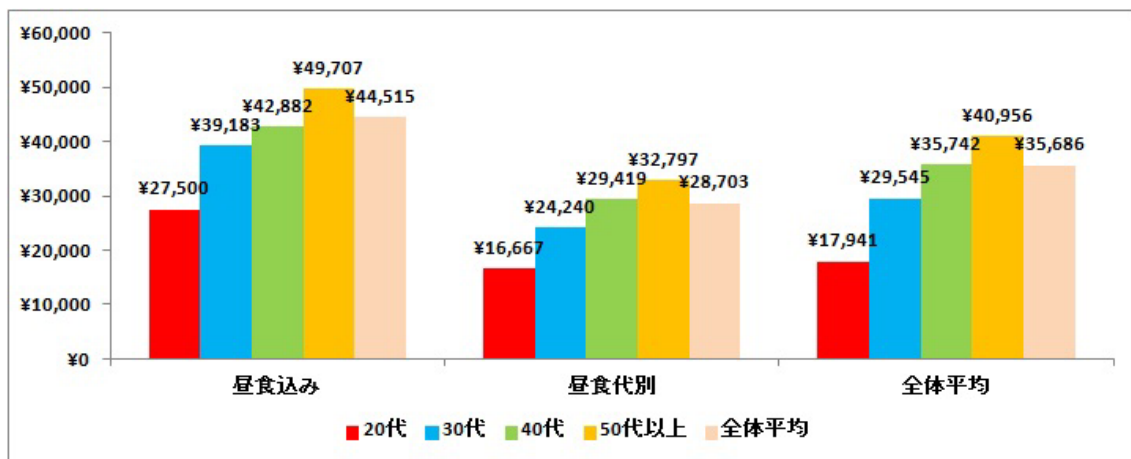


図 1:夫の平均お小遣い額について(n=972)

アンケートの回答者に夫のお小遣い額(自由に使える金額)について聞いたところ、最低額0円から最高額300,000円まで幅広い金額となりました。全体での平均は35,686円でしたが、前回(2013年6月実施)の調査結果では平均35,947円でしたので、全体平均では261円の減額となりました。

また、夫のお小遣い額に昼食代を含むについて確認したところ、含むと回答した方が439名、昼食代は別に渡していると回答した方が533名で、昼食代別の家庭の方がやや多い結果となりました。

お小遣い額の平均額を昼食代込と昼食代別に分けてみると、昼食代込のお小遣い額の平均は44,515円、昼食代別のお小遣い額平均は28,703円と15,812円の開きがありました。

夫のお小遣いに関する妻のコメントでは、「4月にお給料が増えるかなと期待していたのですが増えませんでした。しかし、住宅手当が手厚くなったため、少し家計が助かりました。だからといって、旦那のお小遣いが増えるとか、贅沢な暮らしにすることはありません。増えても減ってもいつもと変わらない生活を心がけています」(夫の世代:30代、お小遣い額:昼食代込み33,000円、2013年とお小遣い額:変わらない、以下同項目)、「4月に増税を控えているタイミングで私が仕事を辞めたので、夫には苦勞をかけています。それでもお小遣いについて何も言わない夫に感謝しています」(20代、昼食代別25,000円、変わらない)といったように、夫婦で支えあっている様子が見えられました。

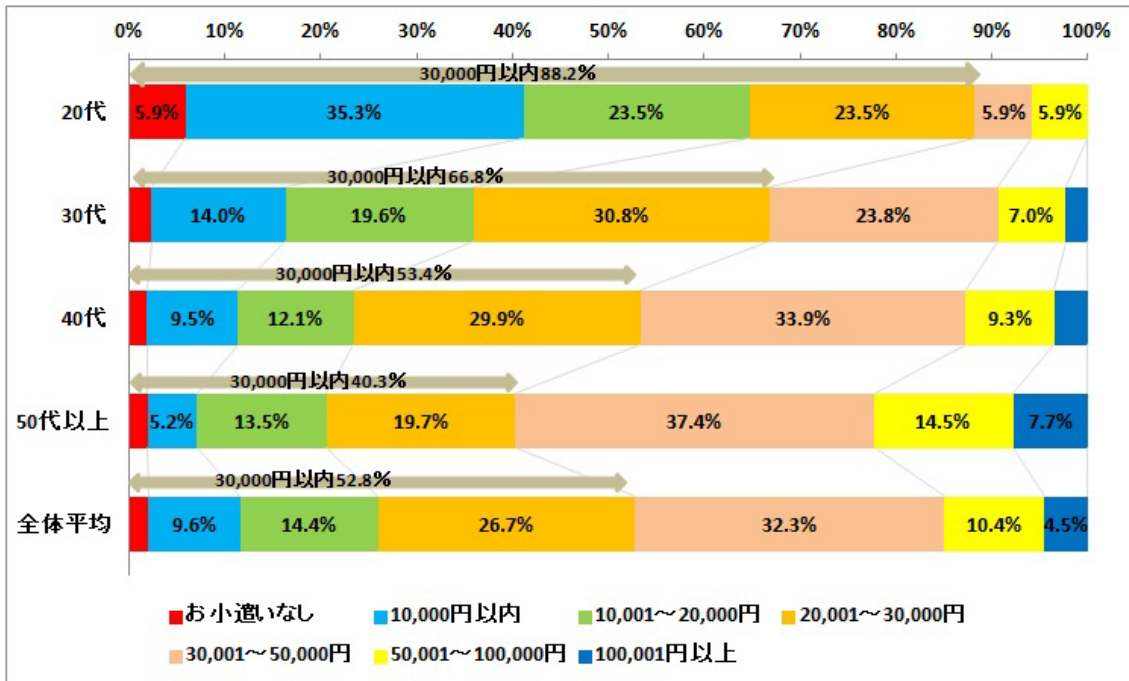


図 2:夫のお小遣い額について【世代別】(n=972)

夫のお小遣い額を「お小遣いなし」、「10,000円以内」、「10,001円～20,000円以内」、「20,001円～30,000円以内」、「30,001円～50,000円以内」、「50,001円～100,000円以内」「100,000円以上」の価格帯に分けて見ると、「30,001円～50,000円」までが最も多く32.3%でした。夫の世代別では、20代は「10,000円以内」が最多で35.3%、30代は「20,001円～30,000円」が最多で30.8%、40代、50代以上は「30,001円～50,000円」が最多で、それぞれ38.9%、37.4%でした。

また、夫のお小遣い額が30,000円以内の比率は、20代で88.2%、30代で66.8%、40代で53.4%、50代以上で40.3%と年齢が上がるに連れて低くなりました。

(2)夫のお小遣いの増減について

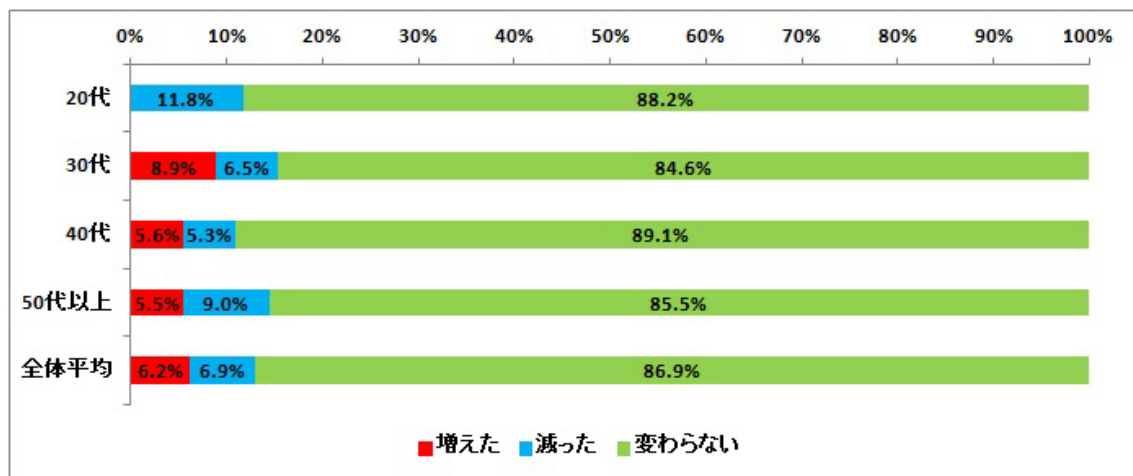
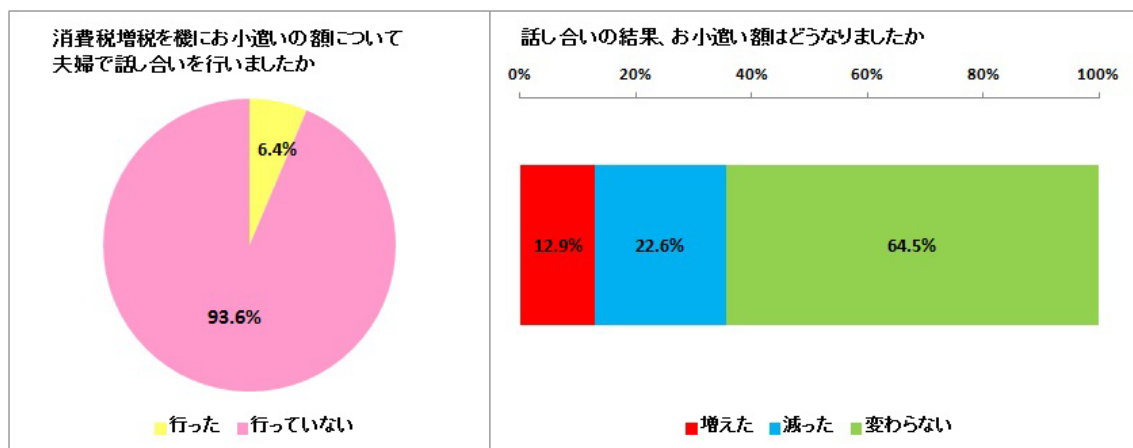


図 3:夫のお小遣い額の増減について(n=972)

2013年と比較して夫のお小遣い額に増減があったかを確認したところ、全体では増えたが6.2%、

減ったが6.9%で減った人の割合がやや多い結果となりました。減った理由としては、「家族が増えたためです。ミルク、おむつ代の捻出のため、夫のお小遣いが犠牲になっています」(40代、昼食代別20,000円、減額5,000円)というように新たに新たに出費項目が増え、その分夫のお小遣いが減ったというパターンが多く見受けられました。

また、増えたパターンでは「基本給が増えたので、お小遣いにまわした。(日々の感謝をこめて)」(40代、昼食代別30,000円、増額10,000円)というように夫の励みになるコメントもありました。



(左)図4:消費増税のタイミングでお小遣い額について話し合いを行ったか(n=972)

(右)図5:消費増税のタイミングでお小遣い額について話し合いを行った家庭の夫の小遣いの増減について(n=62)

今回のアンケートでは、4月の消費増税を受けて、お小遣いの額について夫婦で話し合いを行ったかについても聞きましたが、そうした話し合いを「行った」と回答した家庭は6.4%でした。

お小遣い額についての話し合いを行った家庭のうち、結果としてお小遣い額が増えた家庭は12.9%、減った家庭は22.6%、変わらなかった家庭は64.5%でした。

お小遣い額を減らした理由としては「給料に変化はないが、増税や娘の入園で家計からの支出が増えることになったため減らしました」(30代、昼食別15,000円、減額5,000円)というように収入に変化がないのに増税により支出が増えたからといったコメントや「タバコの値上げや消費税アップ、ガソリンの値上げなど、支出に関する項目が年々、全般的に高くなっている為です」(50代、昼食代別13,000円、減額3,000円)といったように、増税に加えて様々なものが値上がりしているためという意見が見られ、家計のことを考えて夫が一步引いた様子がうかがえました。

(3) 今後、夫のお小遣い額を変更するのにかについて

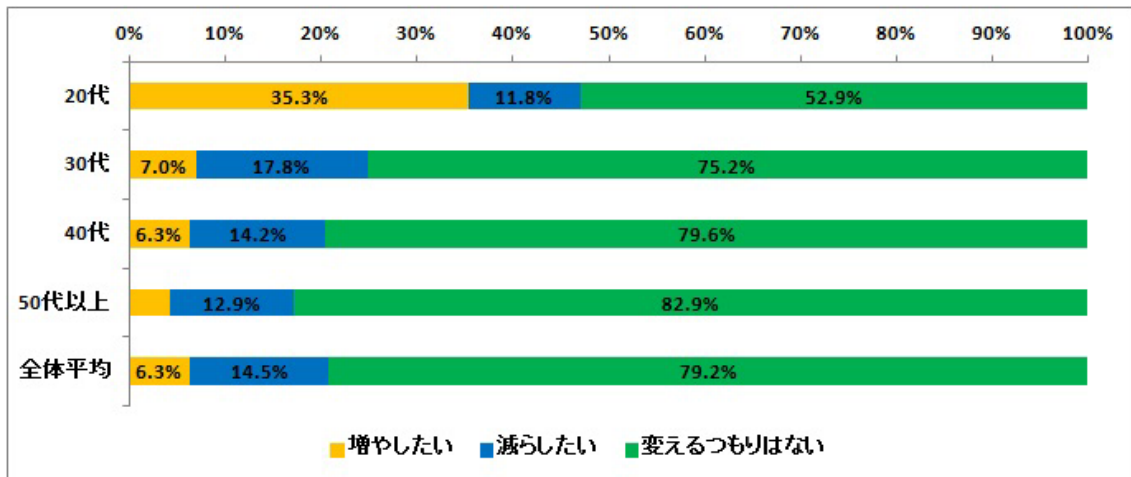


図 6: 今後の夫のお小遣い額について(n=972)

今後、夫のお小遣い額を増やしたいかについては、「増やしたい」と回答した方が 6.3%、「減らしたい」と回答した方が 14.5%と、全体で見ると減らしたいと回答した方の割合が多くなりました。最も増やしたいと回答した妻の比率が高かったのは 20 代で 35.3%、最も減らしたいと回答した妻の比率が高かったのは 30 代で 17.8%でした。

夫のお小遣い額の増減について、減らしたいと回答した妻からは「お小遣いをどうでもよいことに使い切ってしまう、結局飲み代や嗜好品、服の購入費などを別途として欲しがるため、その分を減らしたい」(40 代、昼食代別 27,000 円、増額 7,000 円)、「お昼はお弁当だし、飲みに行くときは別にお金を渡しているので多すぎるような気がします」(50 代以上、昼食代別 55,000 円、変わらない)というようにお小遣い以外にも様々な費用を夫に渡していることに対する不満が見受けられました。

一方、増やしたいと回答した方のコメントでは「役職があがり、部下や後輩がたくさんできました。飲み会などでも多く負担する機会があるようなので、増やしてあげたいです」(40 代、昼食代込 30,000 円、変わらない)、「主人にはもっと上を目指してもらいたいから、お給料が上がればお小遣いもあげたいと思います」(40 代、昼食代別 20,000 円、変わらない)といったように働いている夫の頑張りに応えたいという妻の想いが見られました。

今回の調査では、2014 年の夫のお小遣い額増減については、やや減額傾向にあり、夫側にとって厳しい結果となりました。しかし、夫のお小遣いに関する妻のコメントでは、「夫のお昼を外食からお弁当にしました」(40 代、昼食代別 45,000 円、変わらない)といったように夫が使える金額を少しでも減らさない工夫をしたり、「夫婦二人で月々の支出がわかれば、自然と何にどれくらい使えるかが分かります。その中で減らすことができる部分があれば、(今回で言えばお小遣い額)、お互い頑張ろうという気になりますし、そうした話し合いも 1 つのコミュニケーションになります」(40 代、昼食代込 30,000 円、減額 10,000 円)というように協力し合っている様子が見られました。

【調査実施概要】

対象: 当社登録の会員

調査方法: 当社リサーチサイト「リサれぽ!」を活用したインターネットリサーチ

調査地域: 全国

調査期間: 2014年6月18日～6月24日(7日間)

有効回答者数: 972名

属性: 女性: 20代 2%、30代 28%、40代 48%、50代以上 22%

【ソフトブレン・フィールド株式会社 会社概要】

ソフトブレン・フィールド株式会社は、ソフトブレン株式会社(市場名: 東証1部・4779、本社: 東京都中央区、設立年月日: 1992年6月17日、代表取締役社長: 豊田浩文)のグループ会社として、全国の主婦を中心とした登録スタッフ約50,000名のネットワークを活用し、北海道から沖縄まで全国のドラッグストアやスーパー、コンビニ、専門店など110,000店舗以上をカバーし、営業支援(ラウンダー)や市場調査(ミステリーショッピング、店頭調査など)を実施しています。

当社代表の木名瀬博は、2004年にアサヒビールの社内独立支援制度に応募し、合格第1号事業として独立しました。

本社所在地 : 東京都千代田区有楽町2-2-1 ラクチョウビル7階

設立 : 2004年7月

資本金 : 151,499,329円

代表取締役社長 : 木名瀬 博

URL : <http://www.sbfield.co.jp/>

【会員登録について】

・パソコン用登録 URL: <https://www.sbfield.co.jp/pc/>

・携帯用登録 URL: <https://www.sbfield.co.jp/m/>

会員登録いただくと、当社からお仕事情報を配信いたします。スーパーマーケットやドラッグストアなどの量販店、公共施設や遊戯施設、専門サービスを提供する全国チェーンのお店から飲食店まで、あなたの生活圏がそのままお仕事のフィールドとなります。

【報道関係お問い合わせ先】

ソフトブレン・フィールド株式会社

戦略企画室 柳原(やなぎはら)/具志堅(ぐしけん)

TEL: 03-5537-5981 FAX: 03-5537-5982

MAIL: solution@sbfield.com